

平成30年度労災疾病臨床研究事業費補助金  
「過労死等の実態解明と防止対策に関する総合的な労働安全衛生研究」  
分担研究報告書（事案解析）

脳・心臓疾患及び精神障害に係る労災認定事案の研究

研究分担者 池添弘邦 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 主任研究員

**【研究要旨】**

本研究は、過労死等事案発生の要因とその背景の解明を目指し、過労死等の予防施策に寄与しようとするものである。本研究では、過労死等防止調査研究センターが保有する脳心・精神の業務上認定事案及びそれら個別事案の情報を用いて試行的に分析を行った。具体的には、上記業務上認定事案について、性別、業種別、職種別、発症時代別、発症前6か月の時間外労働時間数別により、全体の傾向把握を行った。その上で、発症時代、業種、職種を考慮しつつ、特に発症前6か月間の時間外労働時間数が当該期間にわたって比較的多い事例であること、また、当該事案から被災労働者が職場において置かれている職務上の立場、あるいは仕事の状況が比較的確な事例を選択して個別事案の分析を行い、労災事故が発生した要因を試行的に検討した。定量的検討からは、発症時代別、業種別、職種別で特に検討すべきカテゴリが示された。今後の調査研究においては、それらカテゴリについて傾注してより子細に調査分析すべきことが示唆される。また、今回の調査結果からは、政策・施策を検討するに際し、発症時代別、業種別、職種別の傾向に留意することが効果的な対策につながりうると考えられる。定性的検討からは、①時間外労働（長時間労働）の削減とともに、不規則な勤務形態の是正を企図した工夫を検討すること、②職場における職位・職責に伴う過重労働を軽減する方策を検討すること、③労働者本人の性格や気質を考慮した日常的な労務管理上の工夫の検討を行うこと、④日々の勤務時間管理の方法について、客観的な記録方法の導入・利用を促進し、また、日々の労働時間や休日労働など事態をよく反映しうる自己申告制の在り方を検討すること、⑤36協定における協定時間と実労働時間との乖離を小さくする方策を検討するとともに、36協定の実効性を高める工夫を検討することが示唆されよう。

研究分担者：

藤本隆史（独立行政法人 労働政策研究・研修機構 アシスタントフェロー）  
高見具広（独立行政法人 労働政策研究・研修機構 研究員）

**A. 研究目的**

過労に起因する業務上疾病及び死亡（過労死・過労自殺。以下、「過労死等」という。）事案は、被災労働者本人の心身状態に加え、就業状況など所属する職場における様々な要因が寄与して発生していると考えられる。しかし、職場におけるどのよう

な要因がどのような背景の下に当該事案に寄与して過労死等が発生しているのか、その実態は明らかにされていないと思われる。本研究は、過労死等事案発生の要因とその背景の解明を目指し、過労死等防止調査研究センターが保有するデータベース並びに個別事案の情報を用いて、過労死等の予防施策に寄与しようとする研究を行おうとするものである。

**B. 研究方法**

**1. 分析対象**

過労死等防止調査研究センターが保有する、平

成 22 年 1 月から平成 27 年 3 月の間に既決された脳心・精神の業務上認定事案（脳心：1,564 件、精神：1,369 件の、計 2,933 件）及びそれら個別事案の情報をを用いて分析する。なお、精神事案は、平成 23 年 12 月に策定された「心理的負荷による精神障害の認定基準」に基づいて業務上と認定された事案を分析対象としている。

#### （倫理面での配慮）

本研究は、労働安全衛生総合研究所研究倫理審査委員会にて審査され、承認を得たうえで行った（通知番号：H3009）。労災認定事案の定量的分析に際しては、被災労働者個人を特定できる情報が含まれていないデータベースを用いた。他方、定性的な個別事例の分析に際しては、個人を特定できる一切の情報を排除して記録を整理したうえで、分析に用いた。

## 2. 分析方法

上記業務上認定事案について、性別、業種別、職種別、発症時年代別、発症前 6 か月の時間外労働時間数別（脳心事案。精神事案についてはこの変数がデータベース上にないため、代わりに、「1 か月以内に 80 時間以上の時間外労働を行った」の変数を用いた。）により、全体の傾向把握を行った。

その上で、発症時年代、業種、職種を考慮しつつ、特に発症前 6 か月間の時間外労働時間数が当該期間にわたって比較的多い事例であること、また、当該事案から被災労働者が職場において置かれている職務上の立場、あるいは仕事の状況が比較的確かな事例を選択して個別事案の分析を行い、労災事故が発生した要因を試行的に検討した。

## C. 研究結果

以下のクロス集計の結果は、割合が比較的高いセルのみを取り上げて記述している。詳細は後掲各表を参照。また、各事例の詳細は表 9 を参照。

### 1. 性別（脳心・精神、表 1 参照）

業務上事案 2,933 件のうち、被災労働者が「男性」の事案は 83.1%（2,436 件）、「女性」の事案は 16.9%（497 件）である。また、脳心事案では、「男性」が 95.6%（1,495 件）、「女性」が 4.4%（69 件）である一方、精神事案では、「男性」が 68.7%（941 件）、「女性」が 31.3%（428 件）であった。

### 2. 発症時年代別（脳心・精神、表 2 参照）

発症時年代は、全体では、「30 代」から「50 代」

が比較的高く、「30 代」が 22.3%（653 件）、「40 代」が 30.0%（879 件）、「50 代」が 26.1%（766 件）であった。男女別では、男性全体では同じ傾向だが、女性全体では、「30 歳未満」が 24.5%（122 件）、「30 代」が 29.6%（147 件）、「40 代」が 22.7%（113 件）であった。

脳心事案では、「40 代」が 31.9%（499 件）、「50 代」が 36.7%（574 件）と、中年層の割合が高い。男女別で見ると、男性では同じ傾向を示すが、女性では、「40 代」が 21.7%（15 件）、「50 代」が 33.3%（23 件）、「60 代」が 20.3%（14 件）となっている。

精神事案では、「30 歳未満」が 21.3%（292 件）、「30 代」が 32.1%（439 件）、「40 代」が 27.8%（380 件）である。男女別で見ると、男性では、「30 代」が 32.2%（303 件）、「40 代」が 30.0%（282 件）である一方、女性では、「30 歳未満」が 27.6%（118 件）、「30 代」が 31.8%（136 件）、「40 代」が 22.9%（98 件）となっている。

### 3. 業種別（脳心・精神、表 3 参照）

業種別では、全体で、「運輸業・郵便業」が 21.0%（617 件）、「卸売業・小売業」が 14.6%（427 件）、「製造業」が 14.8%（433 件）などとなっている。男女別では、そうした傾向に加え、男性では「建設業」が 10.3%（250 件）、女性では「医療・福祉」が 28.0%（139 件）と、比較的高い割合を示している。

脳心事案、精神事案の別、また、それぞれの男女別で見ても、こうした傾向は概ね同様である。なお、脳心事案の女性では、「宿泊業・飲食サービス業」が 14.5%（10 件）と比較的高い割合となっている。

### 4. 職種別（脳心・精神、表 4 参照）

職種別では、全体として、「輸送・機械運転従事者」が 17.2%（505 件）、「専門的・技術的職業従事者」が 19.0%（558 件）、「販売従事者」が 10.9%（320 件）、「サービス職業従事者」が 10.7%（315 件）、「事務従事者」が 14.4%（423 件）などとなっている。

脳心事案、精神事案の別、また、男女別で見た傾向も概ね同様である。なお、脳心事案の男性では、「管理的職業従事者」が 10.2%（152 件）、精神事案の男性では、「生産工程従事者」が 13.9%（131 件）と比較的高い割合となっている。

### 5. 発症時年代別・発症前時間外労働時間数（脳心、表 5-1～5-6 参照）

発症時年代別に見た発症前の時間外労働時間数

の状況について、一連の表5からは、発症前1か月ないし6か月いずれの月についても、「80時間未満」のカテゴリの割合が高くなっている。ただし、この「80時間未満」のカテゴリだけを、発症前6か月から発症前1か月へと順に見ると、全体として概ね割合が低下している。その分、さらに時間外労働時間数が多いカテゴリの割合が増加している。例えば、「120時間以上」のカテゴリを見ると、発症前6か月では、各年代でおよそ15%から23%弱であったのが、発症前1か月では、すべての年代で20%を超えており、「40代」以上の年代では、被災労働者のおよそ25%以上、4人に1人が月120時間以上の時間外労働を行っていたことになる。

#### 6. 業種別・発症前時間外労働時間数（脳心、表6-1～6-6参照）

業種別で見ると、まず、発症前1か月の状況については、「120時間以上」のカテゴリで30%を超えている業種が発症前6か月のどの月よりも多いことが目を惹く。サンプルサイズが大きく異なるものの、「宿泊業・飲食サービス業」で38.4%（43件）、「生活関連サービス業・娯楽業」で34.3%（12件）、「漁業」で63.6%（7件）、「金融業・保険業」で37.5%（3件）、「農業・林業」で50.0%（3件）、「複合サービス業」で42.9%（3件）となっている。しかも、これら業種では、中央値、平均値ともに100時間を超えている（ただし、「金融業・保険業」の平均値は92.8時間である。）。また、他の業種でも、「運輸業・郵便業」で平均値が100.6時間、「建設業」で中央値が100.8時間、平均値が103.3時間、「学術研究・専門技術サービス業」で平均値が106.2時間と、発症前1か月の時間外労働時間数が比較的多い業種が見られる。

また、発症前1か月から6か月の状況を順に見ると、「宿泊業・飲食サービス業」と「漁業」では、「120時間以上」のカテゴリですべての月で30%を超える割合となっていること、加えて、中央値、平均値ともに、100時間を超える状況となっていることが注目される。

#### 7. 職種別・発症前時間外労働時間数（脳心、表7-1～7-6参照）

職種別では、業種別の状況に呼応するように、特に「サービス職業従事者」と「農林漁業従事者」について、発症前6か月のいずれの月についても（ただし、例外の月も見られる。）、「120時間以上」カテゴリで30%を超えており、中央値、平均値、とも

に100時間を超えている。

#### 8. 発症時年代別・業種別・職種別・1か月80時間以上の時間外労働の有無（精神、表8-1～8-3参照）

精神事案に係る時間外労働時間数のデータはないため、認定基準における具体的な出来事のうち、「1か月に80時間以上の時間外労働を行った」ことの有無を用いて検討する。

発症時年代別では、ほとんどの事案が「該当なし」であるが、「該当あり」の事案の傾向を見ると、「30代」で13.4%（59件）、「50代」で11.5%（22件）と、他の年代よりも比較的高い割合を示している。

業種別でも同様に、「該当なし」の割合が高いが、「該当あり」の割合が高い業種としては、「運輸業・郵便業」で15.2%（23件）、「建設業」で14.1%（13件）、「宿泊業・飲食サービス業」で25.0%（21件）、「生活関連サービス業・娯楽業」で34.5%（10件）、「不動産業・物品賃貸業」で14.7%（5件）、「複合サービス業」で20.0%（2件）などとなっている。

職種別でも同様だが、「該当あり」の割合が比較的高いのは、「輸送・機械運転従事者」で18.7%（17件）、「販売従事者」で11.0%（16件）、「サービス職従事者」で17.2%（27件）、「管理的職業従事者」で15.6%（14件）、「運搬・清掃・包装等従事者」で16.3%（7件）などとなっている。

#### 9. 個別事案

今年度の研究では、脳心事案の10事例を検討した。事例の選択に当たっては、先に述べた定量的観察の傾向を踏まえつつ、特に時間外労働時間数の多い事例を中心に選択した。検討に当たって整理した項目は、1) 属性・疾病、2) 仕事内容・事実関係、3) 職場構造・職場での位置づけ、4) 勤務形態（正規・非正規、労働時間制度）、5) 労働時間管理の方法、6) 発症前6か月各月の時間外労働時間数、7) 協定時間と実時間の状況、8) 過半数労組の有無、9) 既往歴（健康診断結果）、である。取り上げた具体的事例については、表9を参照されたい。

以下では各事例の概要を述べる。

【事例1】保育士としての複数の様々な業務が一時期に重なったこと、また、職人気質で一人で仕事を抱え込んでいたことから、業務負荷が過重となり、被災。なお、事業場として始業終業時刻の管理は行われていなかった。また、36協定は締結されておらず、過半数労組組合は存在していなかった。

【事例2】災害復旧支援関連の専門技術的業務を行

う中、非常に多い業務量の大半を一人でこなしていたこと、人員不足、仕事上で対応漏れがあったためショックを受けていたこと、また、単身赴任であったことから、被災。労働時間管理は月報による自己申告で行われていた。36 協定は存在していたが、実時間は協定時間を超えていた。なお、過半数労働組合は存在していたが、過重労働等について特段の活動は行われていなかった。

【事例 3】医師として日常的に不規則な勤務を行っていた中、災害以降、昼夜を問わず受診等業務対応を行い、業務量が倍以上となり、過酷な労働条件となっていたことから、被災。なお、休憩時間は 15 分程度であった。労働時間管理は、IC カード及び時間外勤務命令簿により行われていた。36 協定は存在し、発症前 6 か月について、実時間は協定の特別条項の時間内に収まっていた。過半数労働組合は存在していない。

【事例 4】施設の管理職として総務的業務全般を担っており、業務負荷が過重となり、被災。仕事ぶりは真面目で責任感が強く、誠実に仕事に没頭していた。管理職であったため、事業場において労働時間は管理されていなかった。なお、36 協定の届出はなく、過半数労働組合は存在しなかった。

【事例 5】家族で経営する小売店舗の店長として店舗運営業務全般を担っており、正月三が日を除いて休日はなく、休憩も取ってなかったため、業務負荷が過重となり、被災。なお、時間管理は行われておらず、36 協定や労働組合も存在していない。

【事例 6】フランチャイズのコンビニ店長として店舗運営の業務全般を行う中で、発症前 3 年程度は恒常的な時間外労働を行い、休日も確保されていない状態であったことなどから、業務負荷が過重となり、被災。労働時間管理は、事業主であったため行われておらず、36 協定や労働組合も存在していない。なお、被災者は、中小事業主の特別加入者である。

【事例 7】係長として医療機関等への営業活動を行っており、事業場の業務スケジュールを作成する傍ら、自らも営業活動を行い、休みの者の代行も行うなど、日々長時間労働であり、休日・休暇も少なく、また、深夜・休日 24 時間対応のため待機するなど、勤務が不規則であったため、被災。なお、労働時間管理は自己申告制であった。36 協定は存在するが、実時間は協定時間を超えている。過半数労働組合は存在していない。

【事例 8】貨物自動車の運転手として配送及び荷等の積み下ろしを日々行っていたところ、長期間に

わたって常態的な時間外労働が生じており、業務負荷が過重であったため、被災。明確な勤務時間制度はなかったようであること、発症前 2 週間に 1 日を挟んで 7 日以上連続勤務を行っていたこと、勤務中に休憩時間はなく、平均 15 時間以上の拘束時間のすべてが労働時間であったと評価されている。なお、労働時間の管理はデジタルタコグラフによって行われていた。36 協定は存在するが、実時間は協定時間を超えていた。過半数労働組合は存在しない。

【事例 9】総支配人（従業員兼務役員）としてホテルの管理運営業務全般を担っており、あまり休日を取っていなかった中、恒常的な長時間労働により、被災。兼務役員であったため、所定労働時間と所定休日の定めがない勤務であった。また、兼務役員のため、日々の出退勤管理は行われていなかった。36 協定は存在するが、兼務役員のため不適用とされていたようである。過半数労働組合は存在しない。

【事例 10】課長級の嘱託職員として下請け作業員が製造した物品の納品前検査業務を行っていたところ、下請け作業の状況に合わせて検査業務を行うため、状態的な時間外労働（長時間労働）が生じていたため、被災。背景に人手不足があった。労働時間管理は自己申告のみで、勤務先は一切管理していなかった。36 協定は存在し、実時間は協定時間の範囲内であったものの、年間の限度回数を超えていた。過半数労働組合はない。

## D. 考察

### 1. 定量的観察

性別（表 1 参照）については、脳心事案では男性の割合が非常に高い。また、精神事案では、反対に、女性の割合が男性の半分ほどにまで高くなっている。脳心事案と精神事案とで男女の割合が大きく異なることについて、男女の職域の問題とともに、職場や仕事の状況が、脳心事案、精神事案のそれぞれについて被災とどのように関係するのか、性別を軸に考察していく必要があるように思われる。

なおその際、発症時年齢別（表 2 参照）で見た時、脳心事案では「40 代」から「60 代」の、精神事案では、「30 歳未満」から「40 代」の割合が比較的高いことから、考察の対象をこれら年代に絞ることが必要であろう。

業種別（表 3 参照）については、脳心事案では「運輸業・郵便業」、「卸売業・小売業」、「製造業」、「建設業」、「宿泊業・飲食サービス業」、「医療・福

社」の、精神事案では、「運輸業・郵便業」、「卸売業・小売業」、「製造業」、「医療・福祉」の割合が高いことから、重点的な検討対象とされる必要があると考えられる。

職種別（表4参照）では、脳心事案では、「輸送・機械運転従事者」、「専門的・技術的職業従事者」、「販売従事者」、「サービス職業従事者」、「管理的職業従事者」、「事務従事者」の、精神事案では、「専門的・技術的職業従事者」、「販売従事者」、「サービス職業従事者」、「事務従事者」、「生産工程従事者」の割合が高いことから、今後の検討対象とされる必要がある。

脳心事案について、業種別に見た時間外労働時間との関係では（表6-1～6-6参照）、とりわけ「宿泊業・飲食サービス業」の「120時間以上」の時間外労働時間の割合が高いことから、検討の際は注目しておく必要がある（「漁業」等他の業種の状況を等閑視する意図ではない）。また、職種別に見た時間外労働時間数との関係では（表7-1～7-6参照）、「サービス職業従事者」について「120時間以上」の割合が高いことから、当該職種に注意を払って検討する必要がある。

なお、発症年代別と時間外労働時間数との関係では（表5-1～表5-6参照）、先に述べたように、すべての年代で、発症前6か月よりも発症直前の1か月の方が「120時間以上」の割合が増加していることから、すべての年代について、発症前の半年間の職場や仕事の状況の経過を慎重に検討し、どのようにして業務の過重な負荷が生じたのか、そのメカニズムを解明することの必要性を想起させよう。

精神事案については、「月80時間以上の時間外労働を行った」の出現率が低いのだが、それでもなお、「30代」と「50代」の出現率が相対的に高いことが観察され（表8-1参照）、業種別では（表8-2参照）、「運輸業・郵便業」、「建設業」、「宿泊業・飲食サービス業」、「生活関連サービス業・娯楽業」、「不動産・物品賃貸業」、「複合サービス事業」の割合が高く、職種別では（表8-3参照）、「輸送・機械運転従事者」、「専門的・技術的職業従事者」、「サービス職業従事者」、「管理的職業従事者」、「運搬・清掃・包装等従事者」の割合が高いことから、これら年代、業種、職種についての検討が特に必要であるように思われる。

なお、精神事案については、過労死等防止調査研究センターが保有する情報における精神事案各事案の時間外労働時間数をデータベース化し、詳細

な検討に供する必要があると思われる。

## 2. 定性的観察

いずれの事例も業務の過重負荷が評価されて業務上認定がなされているのであるが、過重負荷を評価する視点は事例間でやや異なるように思われる。同時に、過労死等発生の背景要因として、以下のことを指摘できるであろう。

第一に、時間外労働時間数の多さに注目すると、事例2, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10は時間外労働時間数がかかなり長く、これが過重負荷に寄与したと考えられる。一方、事例1, 3は、（あくまでも他の事例との比較という意味においてであるが、）取り立てて長い時間外労働を行っているわけではないといえそうである。かえって、事例1については、一時期の業務の集中とともに、被災者本人が職人気質であり、一人で仕事を抱え込む性質があったことが寄与しているとも考えられる。また、事例3については、業務対応が従前の2倍になり、かつ、日常的に不規則な勤務をしていたことが寄与しているように思われる。

第二に、職場（構造）における被災者の位置づけである。リーダーの立場（事例1）、専門家（事例2）、医師（事例3）、副施設長（事例4）、店長（事例5, 6）、係長（事例7）、総支配人（事例9）、課長級（事例10）、といった職場における位置づけ・立場が、その職責という職位の質的側面と、その立場におかれる者の業務の広範さという業務の量的増大とが相まって、過重な業務負荷をもたらしているのではないかと推察される。

第三に、被災者の性質・性格である。この点は第一の点でも触れたが、職人気質で仕事を一人で抱え込むタイプ（事例1）、真面目で責任感が強く誠実（事例4）、といったことが過労死等に寄与している面もあるのではないかと考えられる。

第四に、日々の勤務時間の管理である。事例3, 4, 8を除き、日々の労働時間管理、出退勤管理がなされていないか、自己申告に拠っている。ましてや、事例3, 4, 8において客観的な記録媒体によって労働時間管理がなされていても過労死等が発生していることを考えれば、出退勤管理がなされていない事例は言わずもがな、自己申告による労働時間管理は、こと過労死等発生事案に関しては、方策の一つとして有益とは言えないと評価しうる可能性がある。この点は、今後事例を検討していく上で慎重に判断していく必要がある。また、客観的記録の意義ある実務的活用も考えていく必要が

あろう。

第五に、36協定の有無、実時間と協定時間の乖離である。36協定がない事例は論外として（事例1, 4。ただし、事例5, 6は自営業的働き方のため、評価は避ける。）、36協定が存在する事例（7, 8, 10）については、そもそも36協定において時間外労働の上限を定めること自体が意味をなしていない。実労働時間が協定時間を超えるなどしているためである。なお、36協定が不適用と思われる事例（事例9）については、兼務従業員であるゆえに、割増賃金の支払とは全く別に、健康の維持・確保のために実労働時間の把握が適切に行われるべきであったと考えられる。いずれにしても、36協定の規定内容とその実効性が、過労死予防において重要な役割を果たすように思われる。すると、今後の検討においては、36協定の有無や規定内容が過労死等の発生にどのように寄与しているかが検討される必要があるだろう。

なお、労組の有無については、事例2において労組の存在が認められる。労働組合は、労働時間と賃金という組合員たる労働者の極めて重要な労働条件の維持・向上の活動にこそ、その存在意義を形成してきたのであって、この観点から言えば、事例2における労組は、労災事故発生という点から見ればその活動について疑問なしとしない。事業主における過重労働防止とともに、労組が果たすべき役割が適切に認識され、実行されるべき事例と言えるであろう。

## E. 結論

定量的検討からは、発症時年代別、業種別、職種別で特に検討すべきと思われるカテゴリが示された。今後の調査研究においては、それらカテゴリについて傾注してより子細に調査分析すべきことが示唆される。また、今回の調査結果からは、政策・施策を検討するに際し、発症時年代別、業種別、職種別の傾向に留意することが、効果的な対策につながりうると考えられる。

定性的検討からは、①時間外労働（長時間労働）の削減とともに、不規則な勤務形態の是正を企図した工夫を検討すること、②職場における職位・職責に伴う過重労働を軽減する方策を検討すること、③労働者本人の性格や気質を考慮した日常的な労務管理上の工夫の検討を行うこと、④日々の勤務時間管理の方法について、客観的な記録方法の導入・利用を促進し、また、日々の労働時間や休日労働など実態をよく反映しうる自己申告制の在り方

を検討すること、⑤36協定における協定時間と実労働時間との乖離を小さくする方策を検討するとともに、36協定の実効性を高める工夫を検討すること、が示唆されよう。

なお、企業実務的、政策的課題ではないが、労働組合自身も、長時間労働の抑制や過重労働の防止に向けた取組みを強化することが求められているといえるであろう。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

表1 性別（脳心・精神）

	合計		脳心		精神	
	%	(N)	%	(N)	%	(N)
男性	83.1%	(2436)	95.6%	(1495)	68.7%	(941)
女性	16.9%	(497)	4.4%	(69)	31.3%	(428)
合計	100%	(2933)	100%	(1564)	100%	(1369)

表2 発症時年代別（脳心・精神）

	全体			脳心			精神											
	合計		女性	合計		女性	合計		女性									
	%	(N)		%	(N)		%	(N)										
30歳未満	11.5%	(338)	8.9%	(216)	24.5%	(122)	2.9%	(46)	2.8%	(42)	5.8%	(4)	21.3%	(292)	18.5%	(174)	27.6%	(118)
30代	22.3%	(653)	20.8%	(506)	29.6%	(147)	13.7%	(214)	13.6%	(203)	15.9%	(11)	32.1%	(439)	32.2%	(303)	31.8%	(136)
40代	30.0%	(879)	31.4%	(766)	22.7%	(113)	31.9%	(499)	32.4%	(484)	21.7%	(15)	27.8%	(380)	30.0%	(282)	22.9%	(98)
50代	26.1%	(766)	28.3%	(690)	15.3%	(76)	36.7%	(574)	36.9%	(551)	33.3%	(23)	14.0%	(192)	14.8%	(139)	12.4%	(53)
60代	8.9%	(260)	9.4%	(230)	6.0%	(30)	13.4%	(210)	13.1%	(196)	20.3%	(14)	3.7%	(50)	3.6%	(34)	3.7%	(16)
70歳以上	1.0%	(28)	1.1%	(26)	0.4%	(2)	1.3%	(21)	1.3%	(19)	2.9%	(2)	0.5%	(7)	0.7%	(7)	0.0%	(0)
不明	0.3%	(9)	0.1%	(2)	1.4%	(7)	0.0%	(0)	0.0%	(0)	0.0%	(0)	0.7%	(9)	0.2%	(2)	1.6%	(7)
合計	100%	(2933)	100%	(2436)	100%	(497)	100%	(1564)	100%	(1495)	100%	(69)	100%	(1369)	100%	(941)	100%	(428)

表3 業種別（脳心・精神）

	全体			脳心			精神		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)
運輸業・郵便業	21.0% (617)	24.0% (584)	6.6% (33)	29.8% (466)	30.8% (460)	8.7% (6)	11.0% (151)	13.2% (124)	6.3% (27)
卸売業・小売業	14.6% (427)	14.6% (356)	14.3% (71)	14.6% (229)	14.4% (215)	20.3% (14)	14.5% (198)	15.0% (141)	13.3% (57)
製造業	14.8% (433)	15.6% (379)	10.9% (54)	12.3% (192)	12.4% (185)	10.1% (7)	17.6% (241)	20.6% (194)	11.0% (47)
建設業	8.7% (256)	10.3% (250)	1.2% (6)	10.5% (164)	11.0% (164)	0.0% (0)	6.7% (92)	9.1% (86)	1.4% (6)
サービス業（他に分類されないもの）	8.0% (234)	8.0% (196)	7.6% (38)	7.9% (124)	8.0% (120)	5.8% (4)	8.0% (110)	8.1% (76)	7.9% (34)
宿泊業・飲食サービス業	6.8% (199)	6.5% (159)	8.0% (40)	7.4% (115)	7.0% (105)	14.5% (10)	6.1% (84)	5.7% (54)	7.0% (30)
情報通信業	4.9% (143)	4.9% (119)	4.8% (24)	3.3% (51)	3.1% (46)	7.2% (5)	6.7% (92)	7.8% (73)	4.4% (19)
医療・福祉	7.2% (210)	2.9% (71)	28.0% (139)	3.1% (49)	2.5% (38)	15.9% (11)	11.8% (161)	3.5% (33)	29.9% (128)
学術研究・専門技術サービス業	3.7% (109)	3.8% (93)	3.2% (16)	3.0% (47)	2.9% (44)	4.3% (3)	4.5% (62)	5.2% (49)	3.0% (13)
生活関連サービス業・娯楽業	2.2% (64)	2.0% (49)	3.0% (15)	2.2% (35)	2.1% (31)	5.8% (4)	2.1% (29)	1.9% (18)	2.6% (11)
不動産業・物品賃貸業	2.1% (62)	2.2% (53)	1.8% (9)	1.8% (28)	1.9% (28)	0.0% (0)	2.5% (34)	2.7% (25)	2.1% (9)
教育・学習支援業	2.1% (62)	1.8% (43)	3.8% (19)	1.6% (25)	1.5% (23)	2.9% (2)	2.7% (37)	2.1% (20)	4.0% (17)
漁業	0.6% (19)	0.8% (19)	0.0% (0)	0.9% (14)	0.9% (14)	0.0% (0)	0.4% (5)	0.5% (5)	0.0% (0)
金融業・保険業	1.5% (45)	1.1% (28)	3.4% (17)	0.6% (10)	0.6% (9)	1.4% (1)	2.6% (35)	2.0% (19)	3.7% (16)
農業・林業	0.6% (19)	0.7% (16)	0.6% (3)	0.4% (7)	0.4% (6)	1.4% (1)	0.9% (12)	1.1% (10)	0.5% (2)
複合サービス事業	0.6% (17)	0.5% (12)	1.0% (5)	0.4% (7)	0.4% (6)	1.4% (1)	0.7% (10)	0.6% (6)	0.9% (4)
電気・ガス・熱供給・水道業	0.2% (7)	0.2% (6)	0.2% (1)	0.1% (1)	0.1% (1)	0.0% (0)	0.4% (6)	0.5% (5)	0.2% (1)
鉱業・採石業・砂利採取業	0.1% (2)	0.1% (2)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.1% (2)	0.2% (2)	0.0% (0)
公務（他に分類されるものを除く）	0.0% (1)	0.0% (0)	0.2% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.1% (1)	0.0% (0)	0.2% (1)
不明	0.2% (7)	0.0% (1)	1.2% (6)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.5% (7)	0.1% (1)	1.4% (6)
合計	100.0% (2933)	100.0% (2436)	100.0% (497)	100% 1564	100% 1495	100% (69)	100.0% 1369	100.0% 941	100.0% (428)



表4 職種別（脳心・精神）

	全体			脳心			精神		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)
輸送・機械運転従事者	17.2% (505)	20.3% (494)	2.2% (11)	26.5% (414)	27.6% (412)	2.9% (2)	6.6% (91)	8.7% (82)	2.1% (9)
専門的・技術的職業従事者	19.0% (558)	17.4% (423)	27.2% (135)	14.7% (230)	14.4% (215)	21.7% (15)	24.0% (328)	22.1% (208)	28.0% (120)
販売従事者	10.9% (320)	10.5% (256)	12.9% (64)	11.1% (174)	10.8% (161)	18.8% (13)	10.7% (146)	10.1% (95)	11.9% (51)
サービス職業従事者	10.7% (315)	9.2% (224)	18.3% (91)	10.1% (158)	9.6% (143)	21.7% (15)	11.5% (157)	8.6% (81)	17.8% (76)
管理的職業従事者	8.4% (245)	9.6% (234)	2.2% (11)	9.9% (155)	10.2% (152)	4.3% (3)	6.6% (90)	8.7% (82)	1.9% (8)
事務従事者	14.4% (423)	11.9% (291)	26.6% (132)	9.3% (145)	8.8% (131)	20.3% (14)	20.3% (278)	17.0% (160)	27.6% (118)
生産工程従事者	8.2% (240)	8.7% (213)	5.4% (27)	5.6% (87)	5.5% (82)	7.2% (5)	11.2% (153)	13.9% (131)	5.1% (22)
建設・採掘従事者	4.2% (123)	5.0% (122)	0.2% (1)	4.7% (73)	4.9% (73)	0.0% (0)	3.7% (50)	5.2% (49)	0.2% (1)
保安職業従事者	1.8% (54)	2.1% (52)	0.4% (2)	2.7% (42)	2.8% (42)	0.0% (0)	0.9% (12)	1.1% (10)	0.5% (2)
運搬・清掃・包装等従事者	2.7% (79)	2.7% (65)	2.8% (14)	2.3% (36)	2.4% (36)	0.0% (0)	3.1% (43)	3.1% (29)	3.3% (14)
農林漁業従事者	1.2% (35)	1.4% (33)	0.4% (2)	1.3% (21)	1.3% (20)	1.4% (1)	1.0% (14)	1.4% (13)	0.2% (1)
運輸・通信従事者	0.6% (19)	0.8% (19)	0.0% (0)	1.2% (19)	1.3% (19)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)
生産工程・労務作業 （1-1 製造・制作業者）	0.2% (5)	0.2% (5)	0.0% (0)	0.3% (5)	0.3% (5)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)
生産工程・労務作業 （1-3 採掘・建設・労務業者）	0.2% (5)	0.2% (4)	0.2% (1)	0.3% (5)	0.3% (4)	1.4% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)
不明	0.2% (7)	0.0% (1)	1.2% (6)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.5% (7)	0.1% (1)	1.4% (6)
合計	100.0% (2933)	100.0% (2436)	100.0% (497)	100% (1564)	100% (1495)	100% (69)	100.0% (1369)	100.0% (941)	100.0% (428)

表5-1 発症時年代別、「発症前1か月の時間外労働時間数」(脳心)

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計	中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
30歳未満	20.0% (9)	31.1% (14)	26.7% (12)	22.2% (10)	100.0% (45)	98.4	107.6
30代	32.4% (68)	21.9% (46)	24.3% (51)	21.4% (45)	100.0% (210)	96.0	99.1
40代	29.5% (143)	27.1% (131)	18.8% (91)	24.6% (119)	100.0% (484)	94.9	99.6
50代	31.7% (178)	22.1% (124)	20.3% (114)	25.8% (145)	100.0% (561)	95.4	100.9
60代	34.5% (68)	20.8% (41)	16.2% (32)	28.4% (56)	100.0% (197)	95.5	96.1
70歳以上	37.5% (6)	25.0% (4)	12.5% (2)	25.0% (4)	100.0% (16)	88.3	87.3
合計	31% (472)	24% (360)	20% (302)	25% (379)	100% (1513)	95.3	99.6

表5-2 発症時年代別、「発症前2か月の時間外労働時間数」(脳心)

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計	中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
30歳未満	32.5% (13)	37.5% (15)	12.5% (5)	17.5% (7)	100.0% (40)	89.5	96.6
30代	33.7% (60)	28.1% (50)	16.9% (30)	21.3% (38)	100.0% (178)	91.6	94.8
40代	34.8% (150)	25.8% (111)	15.5% (67)	23.9% (103)	100.0% (431)	90.6	96.8
50代	32.6% (164)	27.0% (136)	17.7% (89)	22.7% (114)	100.0% (503)	91.9	95.6
60代	36.2% (64)	24.3% (43)	12.4% (22)	27.1% (48)	100.0% (177)	89.0	91.6
70歳以上	60.0% (9)	13.3% (2)	13.3% (2)	13.3% (2)	100.0% (15)	76.9	73.9
合計	34% (460)	27% (357)	16% (215)	23% (312)	100% (1344)	91.0	95.2

表5-3 発症時年代別、「発症前3か月の時間外労働時間数」(脳心)

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計	中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
30歳未満	36.1% (13)	30.6% (11)	19.4% (7)	13.9% (5)	100.0% (36)	86.9	91.0
30代	36.4% (60)	28.5% (47)	16.4% (27)	18.8% (31)	100.0% (165)	91.0	90.0
40代	36.3% (145)	26.0% (104)	16.0% (64)	21.8% (87)	100.0% (400)	88.3	93.4
50代	34.8% (161)	24.8% (115)	18.4% (85)	22.0% (102)	100.0% (463)	92.7	95.2
60代	43.2% (70)	16.7% (27)	15.4% (25)	24.7% (40)	100.0% (162)	88.6	88.9
70歳以上	42.9% (6)	42.9% (6)	7.1% (1)	7.1% (1)	100.0% (14)	83.2	67.7
合計	37% (455)	25% (310)	17% (209)	22% (266)	100% (1240)	90.7	92.6

表5-4 発症時年代別、「発症前4か月の時間外労働時間数」(脳心)

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計	中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
30歳未満	42.9% (15)	22.9% (8)	20.0% (7)	14.3% (5)	100.0% (35)	84.2	92.9
30代	40.9% (65)	24.5% (39)	15.7% (25)	18.9% (30)	100.0% (159)	88.0	90.3
40代	38.8% (150)	24.5% (95)	16.8% (65)	19.9% (77)	100.0% (387)	88.5	90.5
50代	38.7% (176)	22.2% (101)	14.7% (67)	24.4% (111)	100.0% (455)	92.0	93.9
60代	42.1% (67)	18.2% (29)	15.1% (24)	24.5% (39)	100.0% (159)	91.0	85.2
70歳以上	53.8% (7)	7.7% (1)	23.1% (3)	15.4% (2)	100.0% (13)	71.5	74.2
合計	40% (480)	23% (273)	16% (191)	22% (264)	100% (1208)	89.5	90.9

表5-5 発症時年代別、「発症前5か月の時間外労働時間数」(脳心)

	80時間未満		80-100時間未満		100-120時間未満		120時間以上		合計		中央値 (時間)	平均値 (時間)
	%	(N)	%	(N)	%	(N)	%	(N)	%	(N)		
30歳未満	42.9%	(15)	20.0%	(7)	5.7%	(2)	31.4%	(11)	100.0%	(35)	88.0	92.7
30代	40.9%	(63)	24.0%	(37)	18.2%	(28)	16.9%	(26)	100.0%	(154)	87.8	87.9
40代	45.1%	(169)	22.4%	(84)	13.9%	(52)	18.7%	(70)	100.0%	(375)	84.2	87.4
50代	40.4%	(179)	22.8%	(101)	16.7%	(74)	20.1%	(89)	100.0%	(443)	89.3	92.2
60代	53.8%	(84)	10.9%	(17)	11.5%	(18)	23.7%	(37)	100.0%	(156)	77.3	82.1
70歳以上	46.2%	(6)	30.8%	(4)	7.7%	(1)	15.4%	(2)	100.0%	(13)	83.0	71.0
合計	44%	(516)	21%	(250)	15%	(175)	20%	(235)	100%	(1176)	86.5	88.6

表5-6 発症時年代別、「発症前6か月の時間外労働時間数」(脳心)

	80時間未満		80-100時間未満		100-120時間未満		120時間以上		合計		中央値 (時間)	平均値 (時間)
	%	(N)	%	(N)	%	(N)	%	(N)	%	(N)		
30歳未満	48.6%	(17)	5.7%	(2)	22.9%	(8)	22.9%	(8)	100.0%	(35)	97.0	91.5
30代	41.4%	(63)	26.3%	(40)	17.1%	(26)	15.1%	(23)	100.0%	(152)	88.1	85.0
40代	45.4%	(168)	23.0%	(85)	14.3%	(53)	17.3%	(64)	100.0%	(370)	83.6	84.2
50代	40.5%	(177)	24.5%	(107)	13.5%	(59)	21.5%	(94)	100.0%	(437)	86.2	90.6
60代	51.6%	(80)	16.8%	(26)	9.0%	(14)	22.6%	(35)	100.0%	(155)	78.7	81.8
70歳以上	53.8%	(7)	30.8%	(4)	0.0%	(0)	15.4%	(2)	100.0%	(13)	78.8	66.1
合計	44%	(512)	23%	(264)	14%	(160)	19%	(226)	100%	(1162)	85.1	86.4

表6-1 業種別、「発症前1か月の時間外労働時間数」(脳心)

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計		中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
運輸業・郵便業	32.3% (148)	21.2% (97)	21.2% (97)	25.3% (116)	100.0% (458)		94.8	100.6
卸売業・小売業	32.1% (72)	26.8% (60)	17.4% (39)	23.7% (53)	100.0% (224)		92.5	96.6
製造業	36.6% (68)	24.7% (46)	18.8% (35)	19.9% (37)	100.0% (186)		88.3	92.3
建設業	23.7% (36)	25.7% (39)	24.3% (37)	26.3% (40)	100.0% (152)		100.8	103.3
サービス業(他に分類されないもの)	37.3% (44)	25.4% (30)	13.6% (16)	23.7% (28)	100.0% (118)		89.3	95.4
宿泊業・飲食サービス業	21.4% (24)	20.5% (23)	19.6% (22)	38.4% (43)	100.0% (112)		105.0	115.8
情報通信業	37.3% (19)	25.5% (13)	29.4% (15)	7.8% (4)	100.0% (51)		89.9	89.6
医療・福祉	41.7% (20)	33.3% (16)	8.3% (4)	16.7% (8)	100.0% (48)		85.0	83.5
学術研究・専門技術サービス業	24.4% (11)	31.1% (14)	20.0% (9)	24.4% (11)	100.0% (45)		99.6	106.2
生活関連サービス業・娯楽業	22.9% (8)	14.3% (5)	28.6% (10)	34.3% (12)	100.0% (35)		103.5	107.5
不動産業・物品賃貸業	29.6% (8)	29.6% (8)	14.8% (4)	25.9% (7)	100.0% (27)		94.7	98.6
教育・学習支援業	20.8% (5)	33.3% (8)	29.2% (7)	16.7% (4)	100.0% (24)		98.4	94.6
漁業	27.3% (3)	0.0% (0)	9.1% (1)	63.6% (7)	100.0% (11)		136.0	132.3
金融業・保険業	37.5% (3)	0.0% (0)	25.0% (2)	37.5% (3)	100.0% (8)		106.4	92.8
農業・林業	16.7% (1)	0.0% (0)	33.3% (2)	50.0% (3)	100.0% (6)		125.5	129.9
複合サービス事業	14.3% (1)	14.3% (1)	28.6% (2)	42.9% (3)	100.0% (7)		114.0	122.5
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (1)		58.0	58.0
合計	31.2% (472)	23.8% (360)	20.0% (302)	25.0% (379)	100.0% (1513)		95.3	99.6

表6-2 業種別、「発症前2か月の時間外労働時間数」(脳心)

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計	中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
運輸業・郵便業	30.6% (125)	24.3% (99)	18.1% (74)	27.0% (110)	100.0% (408)	96.0	99.5
卸売業・小売業	34.3% (70)	29.9% (61)	13.2% (27)	22.5% (46)	100.0% (204)	89.5	92.9
製造業	37.8% (65)	26.2% (45)	16.9% (29)	19.2% (33)	100.0% (172)	87.9	92.0
建設業	33.9% (42)	30.6% (38)	16.9% (21)	18.5% (23)	100.0% (124)	89.5	91.9
サービス業(他に分類されないもの)	44.3% (47)	29.2% (31)	10.4% (11)	16.0% (17)	100.0% (106)	82.7	81.3
宿泊業・飲食サービス業	21.6% (22)	21.6% (22)	21.6% (22)	35.3% (36)	100.0% (102)	104.4	111.8
情報通信業	30.4% (14)	34.8% (16)	10.9% (5)	23.9% (11)	100.0% (46)	94.2	97.3
医療・福祉	50.0% (23)	28.3% (13)	6.5% (3)	15.2% (7)	100.0% (46)	80.5	81.8
学術研究・専門技術サービス業	42.1% (16)	15.8% (6)	13.2% (5)	28.9% (11)	100.0% (38)	91.2	97.3
生活関連サービス業・娯楽業	20.7% (6)	41.4% (12)	20.7% (6)	17.2% (5)	100.0% (29)	97.3	97.0
不動産業・物品賃貸業	42.9% (9)	28.6% (6)	28.6% (6)	0.0% (0)	100.0% (21)	86.5	77.4
教育・学習支援業	57.1% (12)	19.0% (4)	14.3% (3)	9.5% (2)	100.0% (21)	69.0	78.6
漁業	14.3% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	85.7% (6)	100.0% (7)	177.6	186.7
金融業・保険業	50.0% (3)	16.7% (1)	0.0% (0)	33.3% (2)	100.0% (6)	77.6	82.4
農業・林業	50.0% (3)	16.7% (1)	16.7% (1)	16.7% (1)	100.0% (6)	88.5	88.4
複合サービス事業	14.3% (1)	28.6% (2)	28.6% (2)	28.6% (2)	100.0% (7)	111.5	96.9
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (1)	52.1	52.1
合計	34.2% (460)	26.6% (357)	16.0% (215)	23.2% (312)	100.0% (1344)	91.0	95.2

表6-3 業種別、「発症前3か月の時間外労働時間数」（脳心）

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計	中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
運輸業・郵便業	31.9% (119)	23.6% (88)	19.6% (73)	24.9% (93)	100.0% (373)	94.0	98.4
卸売業・小売業	33.3% (64)	30.7% (59)	16.7% (32)	19.3% (37)	100.0% (192)	90.9	93.0
製造業	46.0% (75)	26.4% (43)	13.5% (22)	14.1% (23)	100.0% (163)	83.7	85.3
建設業	48.2% (55)	18.4% (21)	15.8% (18)	17.5% (20)	100.0% (114)	82.2	85.8
サービス業（他に分類されないもの）	38.4% (38)	30.3% (30)	14.1% (14)	17.2% (17)	100.0% (99)	87.2	83.9
宿泊業・飲食サービス業	16.8% (16)	28.4% (27)	18.9% (18)	35.8% (34)	100.0% (95)	102.4	111.1
情報通信業	37.5% (15)	27.5% (11)	12.5% (5)	22.5% (9)	100.0% (40)	85.9	89.8
医療・福祉	45.5% (20)	22.7% (10)	15.9% (7)	15.9% (7)	100.0% (44)	84.4	80.1
学術研究・・専門技術サービス業	46.7% (14)	20.0% (6)	13.3% (4)	20.0% (6)	100.0% (30)	82.0	80.9
生活関連サービス業・娯楽業	34.6% (9)	11.5% (3)	30.8% (8)	23.1% (6)	100.0% (26)	101.7	91.0
不動産業・物品賃貸業	61.1% (11)	22.2% (4)	5.6% (1)	11.1% (2)	100.0% (18)	71.4	76.0
教育・学習支援業	45.0% (9)	20.0% (4)	20.0% (4)	15.0% (3)	100.0% (20)	85.8	87.8
漁業	0.0% (0)	0.0% (0)	16.7% (1)	83.3% (5)	100.0% (6)	176.7	184.2
金融業・保険業	50.0% (3)	16.7% (1)	16.7% (1)	16.7% (1)	100.0% (6)	81.9	83.2
農業・林業	66.7% (4)	0.0% (0)	0.0% (0)	33.3% (2)	100.0% (6)	52.2	75.7
複合サービス事業	42.9% (3)	28.6% (2)	14.3% (1)	14.3% (1)	100.0% (7)	88.0	88.0
電気・ガス・熱供給・水道業	0.0% (0)	100.0% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (1)	93.9	93.9
合計	36.7% (455)	25.0% (310)	16.9% (209)	21.5% (266)	100.0% (1240)	90.7	92.6

表6-4 業種別、「発症前4か月の時間外労働時間数」（脳心）

	80時間未満		80-100時間未満		100-120時間未満		120時間以上		合計		中央値 (時間)	平均値 (時間)
	%	(N)	%	(N)	%	(N)	%	(N)	%	(N)		
運輸業・郵便業	33.0%	(119)	25.2%	(91)	16.3%	(59)	25.5%	(92)	100.0%	(361)	93.1	98.1
卸売業・小売業	39.0%	(73)	22.5%	(42)	16.0%	(30)	22.5%	(42)	100.0%	(187)	90.0	92.2
製造業	47.5%	(77)	22.2%	(36)	15.4%	(25)	14.8%	(24)	100.0%	(162)	81.1	82.2
建設業	47.3%	(53)	22.3%	(25)	14.3%	(16)	16.1%	(18)	100.0%	(112)	82.9	81.1
サービス業（他に分類されないもの）	44.3%	(43)	21.6%	(21)	18.6%	(18)	15.5%	(15)	100.0%	(97)	86.5	80.3
宿泊業・飲食サービス業	21.7%	(20)	20.7%	(19)	17.4%	(16)	40.2%	(37)	100.0%	(92)	107.8	113.3
情報通信業	50.0%	(18)	27.8%	(10)	8.3%	(3)	13.9%	(5)	100.0%	(36)	79.4	77.8
医療・福祉	47.7%	(21)	22.7%	(10)	13.6%	(6)	15.9%	(7)	100.0%	(44)	84.1	80.8
学術研究・専門技術サービス業	60.0%	(18)	10.0%	(3)	10.0%	(3)	20.0%	(6)	100.0%	(30)	74.4	83.5
生活関連サービス業・娯楽業	38.5%	(10)	3.8%	(1)	30.8%	(8)	26.9%	(7)	100.0%	(26)	103.3	90.4
不動産業・物品賃貸業	76.5%	(13)	5.9%	(1)	11.8%	(2)	5.9%	(1)	100.0%	(17)	69.9	69.0
教育・学習支援業	45.0%	(9)	40.0%	(8)	0.0%	(0)	15.0%	(3)	100.0%	(20)	82.3	83.6
漁業	16.7%	(1)	16.7%	(1)	16.7%	(1)	50.0%	(3)	100.0%	(6)	130.4	142.7
金融業・保険業	20.0%	(1)	40.0%	(2)	20.0%	(1)	20.0%	(1)	100.0%	(5)	98.0	90.9
農業・林業	40.0%	(2)	0.0%	(0)	40.0%	(2)	20.0%	(1)	100.0%	(5)	100.8	89.2
複合サービス事業	28.6%	(2)	28.6%	(2)	14.3%	(1)	28.6%	(2)	100.0%	(7)	88.0	98.9
電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%	(0)	100.0%	(1)	0.0%	(0)	0.0%	(0)	100.0%	(1)	84.1	84.1
合計	39.7%	(480)	22.6%	(273)	15.8%	(191)	21.9%	(264)	100.0%	(1208)	89.5	90.9



表6-5 業種別、「発症前5か月の時間外労働時間数」(脳心)

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計		中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
運輸業・郵便業	37.5% (131)	20.6% (72)	16.3% (57)	25.5% (89)	100.0% (349)		91.2	96.3
卸売業・小売業	36.6% (68)	28.5% (53)	17.2% (32)	17.7% (33)	100.0% (186)		90.0	90.4
製造業	58.3% (91)	14.1% (22)	14.1% (22)	13.5% (21)	100.0% (156)		72.7	79.4
建設業	49.5% (55)	26.1% (29)	9.9% (11)	14.4% (16)	100.0% (111)		81.3	79.6
サービス業(他に分類されないもの)	52.6% (50)	24.2% (23)	11.6% (11)	11.6% (11)	100.0% (95)		76.5	74.9
宿泊業・飲食サービス業	25.8% (23)	15.7% (14)	27.0% (24)	31.5% (28)	100.0% (89)		108.5	110.0
情報通信業	63.9% (23)	16.7% (6)	8.3% (3)	11.1% (4)	100.0% (36)		68.2	72.4
医療・福祉	50.0% (20)	25.0% (10)	5.0% (2)	20.0% (8)	100.0% (40)		80.4	78.4
学術研究・専門技術サービス業	65.5% (19)	6.9% (2)	10.3% (3)	17.2% (5)	100.0% (29)		71.8	74.3
生活関連サービス業・娯楽業	23.1% (6)	34.6% (9)	11.5% (3)	30.8% (8)	100.0% (26)		98.7	96.4
不動産業・物品賃貸業	56.3% (9)	18.8% (3)	12.5% (2)	12.5% (2)	100.0% (16)		76.3	74.9
教育・学習支援業	57.9% (11)	26.3% (5)	0.0% (0)	15.8% (3)	100.0% (19)		69.8	76.8
漁業	16.7% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	83.3% (5)	100.0% (6)		199.6	189.4
金融業・保険業	60.0% (3)	0.0% (0)	40.0% (2)	0.0% (0)	100.0% (5)		38.9	57.2
農業・林業	40.0% (2)	20.0% (1)	0.0% (0)	40.0% (2)	100.0% (5)		88.6	92.3
複合サービス事業	42.9% (3)	14.3% (1)	42.9% (3)	0.0% (0)	100.0% (7)		88.0	83.8
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (1)		71.1	71.1
合計	43.9% (516)	21.3% (250)	14.9% (175)	20.0% (235)	100.0% (1176)		86.5	88.6

表6-6 業種別、「発症前6か月の時間外労働時間数」(脳心)

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計		中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
運輸業・郵便業	34.8% (120)	26.1% (90)	13.9% (48)	25.2% (87)	100.0% (345)		89.3	96.3
卸売業・小売業	41.4% (75)	29.3% (53)	13.3% (24)	16.0% (29)	100.0% (181)		86.1	85.6
製造業	52.9% (82)	16.8% (26)	14.8% (23)	15.5% (24)	100.0% (155)		76.3	79.0
建設業	51.9% (56)	20.4% (22)	12.0% (13)	15.7% (17)	100.0% (108)		78.9	75.3
サービス業(他に分類されないもの)	56.8% (54)	22.1% (21)	13.7% (13)	7.4% (7)	100.0% (95)		75.5	71.1
宿泊業・飲食サービス業	28.1% (25)	18.0% (16)	16.9% (15)	37.1% (33)	100.0% (89)		104.0	106.8
情報通信業	62.9% (22)	20.0% (7)	11.4% (4)	5.7% (2)	100.0% (35)		64.6	66.4
医療・福祉	45.0% (18)	25.0% (10)	15.0% (6)	15.0% (6)	100.0% (40)		83.1	80.2
学術研究・専門技術サービス業	65.5% (19)	10.3% (3)	17.2% (5)	6.9% (2)	100.0% (29)		64.0	66.3
生活関連サービス業・娯楽業	26.9% (7)	30.8% (8)	15.4% (4)	26.9% (7)	100.0% (26)		96.3	95.9
不動産業・物品賃貸業	68.8% (11)	18.8% (3)	12.5% (2)	0.0% (0)	100.0% (16)		50.9	55.6
教育・学習支援業	68.4% (13)	10.5% (2)	5.3% (1)	15.8% (3)	100.0% (19)		75.5	76.3
漁業	16.7% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	83.3% (5)	100.0% (6)		252.0	211.4
金融業・保険業	40.0% (2)	20.0% (1)	40.0% (2)	0.0% (0)	100.0% (5)		95.3	77.5
農業・林業	60.0% (3)	0.0% (0)	0.0% (0)	40.0% (2)	100.0% (5)		73.8	86.3
複合サービス事業	42.9% (3)	28.6% (2)	0.0% (0)	28.6% (2)	100.0% (7)		83.6	88.3
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (1)		61.4	61.4
合計	44.1% (512)	22.7% (264)	13.8% (160)	19.4% (226)	100.0% (1162)		85.1	86.4

表7-1 職種別、「発症前1か月の時間外労働時間数」（脳心）

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計	中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
輸送・機械運転従事者	32.3% (131)	21.7% (88)	21.2% (86)	24.9% (101)	100.0% (406)	94.7	100.3
専門的・技術的職業従事者	32.3% (72)	29.1% (65)	19.3% (43)	19.3% (43)	100.0% (223)	92.3	93.8
販売従事者	28.5% (49)	28.5% (49)	18.0% (31)	25.0% (43)	100.0% (172)	92.5	99.0
サービス職業従事者	21.4% (33)	22.7% (35)	17.5% (27)	38.3% (59)	100.0% (154)	104.6	113.7
管理的職業従事者	30.4% (45)	20.9% (31)	23.0% (34)	25.7% (38)	100.0% (148)	98.2	101.4
事務従事者	28.9% (41)	28.9% (41)	24.6% (35)	17.6% (25)	100.0% (142)	95.2	96.7
生産工程従事者	44.0% (37)	17.9% (15)	19.0% (16)	19.0% (16)	100.0% (84)	86.1	88.2
建設・採掘従事者	31.3% (21)	20.9% (14)	17.9% (12)	29.9% (20)	100.0% (67)	99.5	100.2
保安職業従事者	32.5% (13)	22.5% (9)	20.0% (8)	25.0% (10)	100.0% (40)	97.0	98.8
運搬・清掃・包装等従事者	31.3% (10)	21.9% (7)	15.6% (5)	31.3% (10)	100.0% (32)	93.1	103.2
農林漁業従事者	23.5% (4)	0.0% (0)	17.6% (3)	58.8% (10)	100.0% (17)	132.0	131.9
運輸・通信従事者	47.4% (9)	31.6% (6)	5.3% (1)	15.8% (3)	100.0% (19)	84.8	82.7
生産工程・労務作業 者（1-1 製造・制作業者）	60.0% (3)	0.0% (0)	20.0% (1)	20.0% (1)	100.0% (5)	77.5	80.9
生産工程・労務作業 者（1-3 採掘・建設・労務業者）	100.0% (4)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (4)	66.6	66.5
合計	31.2% (472)	23.8% (360)	20.0% (302)	25.0% (379)	100.0% (1513)	95.3	99.6

表7-2 職種別、「発症前2か月の時間外労働時間数」（脳心）

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計	中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
輸送・機械運転従事者	30.5% (110)	24.4% (88)	17.5% (63)	27.7% (100)	100.0% (361)	96.1	99.2
専門的・技術的職業従事者	37.3% (75)	27.4% (55)	14.4% (29)	20.9% (42)	100.0% (201)	88.4	92.4
販売従事者	35.5% (55)	27.7% (43)	15.5% (24)	21.3% (33)	100.0% (155)	89.0	92.4
サービス職業従事者	23.5% (32)	27.2% (37)	18.4% (25)	30.9% (42)	100.0% (136)	98.3	106.1
管理的職業従事者	31.5% (41)	31.5% (41)	14.6% (19)	22.3% (29)	100.0% (130)	91.5	95.6
事務従事者	38.5% (50)	26.9% (35)	14.6% (19)	20.0% (26)	100.0% (130)	88.1	89.6
生産工程従事者	34.7% (26)	26.7% (20)	20.0% (15)	18.7% (14)	100.0% (75)	90.0	94.4
建設・採掘従事者	43.4% (23)	30.2% (16)	15.1% (8)	11.3% (6)	100.0% (53)	85.7	80.4
保安職業従事者	54.3% (19)	22.9% (8)	8.6% (3)	14.3% (5)	100.0% (35)	75.0	71.3
運搬・清掃・包装等従事者	37.9% (11)	31.0% (9)	17.2% (5)	13.8% (4)	100.0% (29)	87.5	92.3
農林漁業従事者	28.6% (4)	14.3% (2)	7.1% (1)	50.0% (7)	100.0% (14)	117.5	137.4
運輸・通信従事者	47.1% (8)	11.8% (2)	17.6% (3)	23.5% (4)	100.0% (17)	87.1	98.0
生産工程・労務作業 者 (1-1 製造・制作業者)	75.0% (3)	0.0% (0)	25.0% (1)	0.0% (0)	100.0% (4)	77.3	73.5
生産工程・労務作業 者 (1-3 採掘・建設・労務業者)	75.0% (3)	25.0% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (4)	77.3	80.5
合計	34.2% (460)	26.6% (357)	16.0% (215)	23.2% (312)	100.0% (1344)	91.0	95.2

表7-3 職種別、「発症前3か月の時間外労働時間数」（脳心）

	80時間未満		80-100時間未満		100-120時間未満		120時間以上		合計		中央値 (時間)	平均値 (時間)
	%	(N)	%	(N)	%	(N)	%	(N)	%	(N)		
輸送・機械運転従事者	32.2%	(105)	25.5%	(83)	19.3%	(63)	23.0%	(75)	100.0%	(326)	92.6	96.9
専門的・技術的職業従事者	44.3%	(81)	23.5%	(43)	13.7%	(25)	18.6%	(34)	100.0%	(183)	84.3	86.1
販売従事者	37.2%	(55)	31.1%	(46)	15.5%	(23)	16.2%	(24)	100.0%	(148)	90.4	89.8
サービス職業従事者	21.6%	(27)	25.6%	(32)	20.0%	(25)	32.8%	(41)	100.0%	(125)	101.8	106.6
管理的職業従事者	34.7%	(41)	21.2%	(25)	21.2%	(25)	22.9%	(27)	100.0%	(118)	92.5	95.8
事務従事者	41.5%	(49)	27.1%	(32)	13.6%	(16)	17.8%	(21)	100.0%	(118)	86.8	87.0
生産工程従事者	44.4%	(32)	29.2%	(21)	9.7%	(7)	16.7%	(12)	100.0%	(72)	83.8	85.8
建設・採掘従事者	52.0%	(26)	20.0%	(10)	14.0%	(7)	14.0%	(7)	100.0%	(50)	77.5	77.6
保安職業従事者	44.1%	(15)	29.4%	(10)	11.8%	(4)	14.7%	(5)	100.0%	(34)	83.6	71.0
運搬・清掃・包装等従事者	32.1%	(9)	14.3%	(4)	25.0%	(7)	28.6%	(8)	100.0%	(28)	100.8	105.1
農林漁業従事者	30.8%	(4)	0.0%	(0)	15.4%	(2)	53.8%	(7)	100.0%	(13)	132.1	127.8
運輸・通信従事者	41.2%	(7)	11.8%	(2)	23.5%	(4)	23.5%	(4)	100.0%	(17)	93.2	96.0
生産工程・労務作業 者 (1-1 製造・制作業者)	50.0%	(2)	25.0%	(1)	0.0%	(0)	25.0%	(1)	100.0%	(4)	85.6	78.8
生産工程・労務作業 者 (1-3 採掘・建設・労務業者)	50.0%	(2)	25.0%	(1)	25.0%	(1)	0.0%	(0)	100.0%	(4)	77.6	80.8
合計	36.7%	(455)	25.0%	(310)	16.9%	(209)	21.5%	(266)	100.0%	(1240)	90.7	92.6

表7-4 職種別、「発症前4か月の時間外労働時間数」（脳心）

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計	中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
輸送・機械運転従事者	33.2% (105)	25.6% (81)	15.8% (50)	25.3% (80)	100.0% (316)	92.3	97.2
専門的・技術的職業従事者	53.4% (95)	20.2% (36)	9.6% (17)	16.9% (30)	100.0% (178)	76.3	80.7
販売従事者	39.7% (58)	25.3% (37)	16.4% (24)	18.5% (27)	100.0% (146)	90.2	89.4
サービス職業従事者	26.0% (32)	16.3% (20)	20.3% (25)	37.4% (46)	100.0% (123)	107.0	109.7
管理的職業従事者	41.0% (48)	18.8% (22)	21.4% (25)	18.8% (22)	100.0% (117)	91.5	89.8
事務従事者	47.8% (55)	18.3% (21)	13.0% (15)	20.9% (24)	100.0% (115)	84.1	85.1
生産工程従事者	39.4% (28)	29.6% (21)	15.5% (11)	15.5% (11)	100.0% (71)	87.5	86.1
建設・採掘従事者	48.9% (23)	25.5% (12)	10.6% (5)	14.9% (7)	100.0% (47)	83.3	75.2
保安職業従事者	50.0% (16)	21.9% (7)	15.6% (5)	12.5% (4)	100.0% (32)	78.2	64.9
運搬・清掃・包装等従事者	33.3% (9)	29.6% (8)	18.5% (5)	18.5% (5)	100.0% (27)	91.7	95.0
農林漁業従事者	25.0% (3)	8.3% (1)	25.0% (3)	41.7% (5)	100.0% (12)	116.8	119.0
運輸・通信従事者	31.3% (5)	31.3% (5)	18.8% (3)	18.8% (3)	100.0% (16)	90.0	96.6
生産工程・労務作業 者 (1-1 製造・制作作業)	50.0% (2)	0.0% (0)	50.0% (2)	0.0% (0)	100.0% (4)	89.2	78.2
生産工程・労務作業 者 (1-3 採掘・建設・労務作業)	25.0% (1)	50.0% (2)	25.0% (1)	0.0% (0)	100.0% (4)	91.2	86.6
合計	39.7% (480)	22.6% (273)	15.8% (191)	21.9% (264)	100.0% (1208)	89.5	90.9

表7-5 職種別、「発症前5か月の時間外労働時間数」（脳心）

	80時間未満		80-100時間未満		100-120時間未満		120時間以上		合計		中央値 (時間)	平均値 (時間)
	%	(N)	%	(N)	%	(N)	%	(N)	%	(N)		
輸送・機械運転従事者	37.7%	(115)	21.0%	(64)	17.0%	(52)	24.3%	(74)	100.0%	(305)	89.9	95.9
専門的・技術的職業従事者	56.9%	(99)	19.5%	(34)	9.2%	(16)	14.4%	(25)	100.0%	(174)	74.7	77.3
販売従事者	36.1%	(52)	26.4%	(38)	20.8%	(30)	16.7%	(24)	100.0%	(144)	91.3	88.7
サービス職業従事者	30.5%	(36)	18.6%	(22)	18.6%	(22)	32.2%	(38)	100.0%	(118)	101.2	103.2
管理的職業従事者	44.3%	(51)	23.5%	(27)	15.7%	(18)	16.5%	(19)	100.0%	(115)	86.9	89.9
事務従事者	41.6%	(47)	29.2%	(33)	13.3%	(15)	15.9%	(18)	100.0%	(113)	86.0	83.7
生産工程従事者	58.0%	(40)	17.4%	(12)	11.6%	(8)	13.0%	(9)	100.0%	(69)	72.7	78.9
建設・採掘従事者	63.0%	(29)	15.2%	(7)	8.7%	(4)	13.0%	(6)	100.0%	(46)	71.0	71.8
保安職業従事者	67.7%	(21)	16.1%	(5)	6.5%	(2)	9.7%	(3)	100.0%	(31)	67.0	58.0
運搬・清掃・包装等従事者	42.3%	(11)	11.5%	(3)	19.2%	(5)	26.9%	(7)	100.0%	(26)	92.1	96.9
農林漁業従事者	25.0%	(3)	8.3%	(1)	0.0%	(0)	66.7%	(8)	100.0%	(12)	146.5	143.2
運輸・通信従事者	40.0%	(6)	20.0%	(3)	20.0%	(3)	20.0%	(3)	100.0%	(15)	94.9	89.4
生産工程・労務作業 （1-1 製造・制作業者）	75.0%	(3)	0.0%	(0)	0.0%	(0)	25.0%	(1)	100.0%	(4)	50.2	70.1
生産工程・労務作業 （1-3 採掘・建設・労務業者）	75.0%	(3)	25.0%	(1)	0.0%	(0)	0.0%	(0)	100.0%	(4)	73.7	70.1
合計	43.9%	(516)	21.3%	(250)	14.9%	(175)	20.0%	(235)	100.0%	(1176)	86.5	88.6

表7-6 職種別、「発症前6か月の時間外労働時間数」（脳心）

	80時間未満	80-100時間未満	100-120時間未満	120時間以上	合計	中央値 (時間)	平均値 (時間)
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)		
輸送・機械運転従事者	35.8% (108)	26.2% (79)	14.2% (43)	23.8% (72)	100.0% (302)	88.7	95.2
専門的・技術的職業従事者	53.2% (91)	19.3% (33)	14.0% (24)	13.5% (23)	100.0% (171)	79.1	76.6
販売従事者	42.6% (60)	31.2% (44)	11.3% (16)	14.9% (21)	100.0% (141)	85.7	83.7
サービス職業従事者	35.0% (41)	21.4% (25)	12.8% (15)	30.8% (36)	100.0% (117)	94.9	96.7
管理的職業従事者	47.3% (53)	15.2% (17)	17.0% (19)	20.5% (23)	100.0% (112)	82.9	88.1
事務従事者	42.0% (47)	27.7% (31)	15.2% (17)	15.2% (17)	100.0% (112)	87.2	82.3
生産工程従事者	55.1% (38)	11.6% (8)	21.7% (15)	11.6% (8)	100.0% (69)	72.8	76.2
建設・採掘従事者	65.2% (30)	13.0% (6)	8.7% (4)	13.0% (6)	100.0% (46)	59.6	62.5
保安職業従事者	61.3% (19)	25.8% (8)	9.7% (3)	3.2% (1)	100.0% (31)	64.0	56.7
運搬・清掃・包装等従事者	46.2% (12)	30.8% (8)	11.5% (3)	11.5% (3)	100.0% (26)	80.4	82.8
農林漁業従事者	33.3% (4)	0.0% (0)	0.0% (0)	66.7% (8)	100.0% (12)	164.8	154.4
運輸・通信従事者	26.7% (4)	20.0% (3)	6.7% (1)	46.7% (7)	100.0% (15)	110.2	124.9
生産工程・労務作業 者 (1-1 製造・制作業者)	50.0% (2)	25.0% (1)	0.0% (0)	25.0% (1)	100.0% (4)	81.0	73.5
生産工程・労務作業 者 (1-3 採掘・建設・労務業者)	75.0% (3)	25.0% (1)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (4)	67.0	70.4
合計	44.1% (512)	22.7% (264)	13.8% (160)	19.4% (226)	100.0% (1162)	85.1	86.4



表8-1 発症時年代別、「1か月に80時間以上の時間外労働を行った（具体的な出来事16）」（精神）

	該当あり	該当なし	出来事欄回答なし	合計
	% (N)	% (N)	% (N)	% (N)
30歳未満	8.2% (24)	76.0% (222)	15.8% (46)	100.0% (292)
30代	13.4% (59)	71.3% (313)	15.3% (67)	100.0% (439)
40代	8.9% (34)	75.3% (286)	15.8% (60)	100.0% (380)
50代	11.5% (22)	71.9% (138)	16.7% (32)	100.0% (192)
60代	8.0% (4)	80.0% (40)	12.0% (6)	100.0% (50)
70歳以上	0.0% (0)	85.7% (6)	14.3% (1)	100.0% (7)
合計	11% (143)	74% (1005)	16% (212)	100% (1360)

表8-2 業種別、「1か月に80時間以上の時間外労働を行った（具体的な出来事16）」（精神）

	該当あり		該当なし		出来事欄回答なし		合計	
	%	(N)	%	(N)	%	(N)	%	(N)
運輸業・郵便業	15.2%	(23)	64.9%	(98)	19.9%	(30)	100.0%	(151)
卸売業・小売業	9.1%	(18)	76.8%	(152)	14.1%	(28)	100.0%	(198)
製造業	7.9%	(19)	78.8%	(190)	13.3%	(32)	100.0%	(241)
建設業	14.1%	(13)	68.5%	(63)	17.4%	(16)	100.0%	(92)
サービス業（他に分類されないもの）	5.5%	(6)	76.4%	(84)	18.2%	(20)	100.0%	(110)
宿泊業・飲食サービス業	25.0%	(21)	51.2%	(43)	23.8%	(20)	100.0%	(84)
情報通信業	7.6%	(7)	78.3%	(72)	14.1%	(13)	100.0%	(92)
医療・福祉	6.8%	(11)	80.7%	(130)	12.4%	(20)	100.0%	(161)
学術研究・専門技術サービス業	9.7%	(6)	77.4%	(48)	12.9%	(8)	100.0%	(62)
生活関連サービス業・娯楽業	34.5%	(10)	55.2%	(16)	10.3%	(3)	100.0%	(29)
不動産業・物品賃貸業	14.7%	(5)	73.5%	(25)	11.8%	(4)	100.0%	(34)
教育・学習支援業	2.7%	(1)	81.1%	(30)	16.2%	(6)	100.0%	(37)
漁業	0.0%	(0)	60.0%	(3)	40.0%	(2)	100.0%	(5)
金融業・保険業	2.1%	(1)	76.6%	(36)	21.3%	(10)	100.0%	(47)
農業・林業	0.0%	(0)	0.0%	(0)	0.0%	(0)	0.0%	(0)
複合サービス事業	20.0%	(2)	70.0%	(7)	10.0%	(1)	100.0%	(10)
電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%	(0)	100.0%	(6)	0.0%	(0)	100.0%	(6)
鉱業・採石業・砂利採取業	0.0%	(0)	100.0%	(2)	0.0%	(0)	100.0%	(2)
公務（他に分類されるものを除く）	0.0%	(0)	100.0%	(1)	0.0%	(0)	100.0%	(1)
不明	0.0%	(0)	28.6%	(2)	71.4%	(5)	100.0%	(7)
合計	10.4%	(143)	73.6%	(1008)	15.9%	(218)	100.0%	(1369)

表8-3 職種別、「1か月に80時間以上の時間外労働を行った（具体的な出来事16）」（精神）

	該当あり		該当なし		出来事欄回答なし		合計	
	%	(N)	%	(N)	%	(N)	%	(N)
輸送・機械運転従事者	18.7%	(17)	68.1%	(62)	13.2%	(12)	100.0%	(91)
専門的・技術的職業従事者	8.2%	(27)	77.4%	(254)	14.3%	(47)	100.0%	(328)
販売従事者	11.0%	(16)	69.9%	(102)	19.2%	(28)	100.0%	(146)
サービス職業従事者	17.2%	(27)	68.8%	(108)	14.0%	(22)	100.0%	(157)
管理的職業従事者	15.6%	(14)	66.7%	(60)	17.8%	(16)	100.0%	(90)
事務従事者	6.5%	(18)	80.6%	(224)	12.9%	(36)	100.0%	(278)
生産工程従事者	7.2%	(11)	74.5%	(114)	18.3%	(28)	100.0%	(153)
建設・採掘従事者	8.0%	(4)	70.0%	(35)	22.0%	(11)	100.0%	(50)
保安職業従事者	8.3%	(1)	66.7%	(8)	25.0%	(3)	100.0%	(12)
運搬・清掃・包装等従事者	16.3%	(7)	62.8%	(27)	20.9%	(9)	100.0%	(43)
農林漁業従事者	7.1%	(1)	85.7%	(12)	7.1%	(1)	100.0%	(14)
運輸・通信従事者	0.0%	(0)	0.0%	(0)	0.0%	(0)	0.0%	(0)
生産工程・労務作業 （1-1 製造・制作作業）	0.0%	(0)	0.0%	(0)	0.0%	(0)	0.0%	(0)
生産工程・労務作業 （1-2 採掘・建設・労務作業）	0.0%	(0)	0.0%	(0)	0.0%	(0)	0.0%	(0)
生産工程・労務作業 （1-3 採掘・建設・労務作業）	0.0%	(0)	0.0%	(0)	0.0%	(0)	0.0%	(0)
不明	0.0%	(0)	28.6%	(2)	71.4%	(5)	100.0%	(7)
合計	10.4%	(143)	73.6%	(1008)	15.9%	(218)	100.0%	(1369)

表9 本報告で取り上げた過労死等事例の概要

事例	属性・疾病	仕事内容・事実関係	職場構造・職場での位置づけ	勤務形態（正規・非正規、労働時間制度）	労働時間管理の方法	発症前6か月の時間外労働の状況	協定時間と実時間の状況	過半数労組の有無	既往歴（健康診断結果）
1	発症時20代、女性、医療・福祉、専門技術職（保育士）、小脳出血、生存。	被災者は、園児の日常的な保育の他、関連業務でも主導的役割を担っていた。発症4か月前に、同僚のパートへの変更等により、休日の研修や講演会への参加が増え始めた。この頃から、保育園でインフルエンザ等が流行し、職員不足になった結果、業務量が増大し、自宅に持ち帰って作業していた。発症前1か月には、同僚が体調不良で10日ほど休暇を取ったため、この間被災者はリーダー的役割を担い、後輩の管理もしなければならなかった。発症直前は、園内行事のため連日残業している。発症前1か月の総労働時間数は254時間、時間外労働は102時間である。なお、同僚、家族によると、被災者は1人で仕事をしたがるタイプであり、職員気質であった。仕事の手伝いなど自ら依頼せず、一人で抱え込むタイプの性格であった。	被災者は、主に3歳未満児の担当保育士として就労していた。3歳未満児のクラスには、被災者の先輩保育士が1名、後輩の保育士が5名いた。	正規。1年単位変形労働時間制。日勤。所定労働時間は1日8時間で、隔週週休2日制。	出勤簿、月間勤務表により行われているが、事業場として労働者の始業・終業時刻の把握は一切行われていない。	発症前1か月：102時間、発症前2か月：56時間、発症前3か月：34時間、発症前4か月：59時間、発症前5か月：59時間、発症前6か月：62時間。	36協定なし。	なし。	肥満、高脂血症。友人や同僚等によると、頭痛と息切れ、ふらつきの自訴があり、発症月も頭痛を訴えていた。

事例	属性・疾病	仕事内容・事実関係	職場構造・職場での位置づけ	勤務形態（正規・非正規、労働時間制度）	労働時間管理の方法	発症前6か月の時間外労働の状況	協定時間と実時間の状況	過半数労組の有無	既往歴（健康診断結果）
2	発症時30代、男性、専門技術サービス、専門技術職、脳出血、生存。	被災者は、災害復旧支援のために災害現場で災害査定のため、測量、設計、積算の書類審査の各業務に従事していた。被災者は、専門家として業務の大半を一人でこなしていた。審査件数が多く、期日の制約があった。審査書類不備への対応や指導に時間が取られ、人員不足もあって膨大な時間外労働が生じていた。休日にはなかったもよう。被災者は指導的立場にあり、助言等による精神的緊張・負担が高かった。被害規模が高額な案件の審査を漏らしていたことから相当なショックを受けていた。被災者が行っていた業務の労働密度は非常に高かった。被災直前は4か月余り単身赴任でホテル住まいをしていた。	主幹。所属事業場の人員は6名。被災者の下には嘱託職員が2名のみ。ただし被災時は出先の町役場で勤務していた。	正規。通常の時間制度。日勤拘束9時間、完全週休2日制。	自己申告による業務月報により管理。出先の職員の確認と押印を以て勤務先に提出していた。	発症前1か月：98時間、発症前2か月：164時間、発症前3か月：144時間、発症前4か月：131時間、発症前5か月：46時間、発症前6か月：1時間。	36協定は、1日4時間、1か月20時間、1年180時間。特別条項により年6回を限度に1か月30時間まで延長可能。1日の延長時間は、1か月のうち5日に限り6時間まで。被災者の時間外労働は特別条項限度時間を超えていた。	あり。なお、過重労働や割増賃金の不足について組合が特段の活動行った実績はない。	高血圧。
3	発症時30代、男性、医療・福祉、専門技術職（医師）、前交通動脈からのく前交通動脈瘤、高血圧性緊急症、生存。	被災者は医師として、入院・外来患者の診療・検査を担当していた。当直勤務の場合は病院に待機し外来救急の対応を行う。他に専門科の当番（平日・土日、日中・夜間の急変・急患対応）も定期的に担当していた。当番でない休日でも、患者の急変や死亡等により処置や電子カルテの記録の他、処置翌日のデータ確認のための出勤もあり、不規則な勤務であった。他病院への出張もあった。震災により近隣医療施設が甚大な被害を受けたため、救急患者が従前の2倍以上になったが、十分な医師数が確保できないため、昼夜を問わず外来・入院・救急患者の対応に追われていた。	勤務医。被災者の所属事業場の人員は982名。	正規。日勤、準夜当直勤務。	ICカード及び時間外勤務命令簿により行われている。所定労働時間は1日7時間45分、1週間38時間45分。完全週休二日制。休憩時間は実際には15分程度しかとれず、食事をしながら検査を行うこともあった。	発症前1か月：67時間、発症前2か月：88時間、発症前3か月：72時間、発症前4か月：64時間、発症前5か月：77時間、発症前6か月：92時間。	36協定は、1日5時間、1月45時間、1年360時間。6回を限度として1か月120時間まで延長可、1年990時間まで延長可。	なし。	不明。

事例	属性・疾病	仕事内容・事実関係	職場構造・職場での位置づけ	勤務形態（正規・非正規、労働時間制度）	労働時間管理の方法	発症前6か月の時間外労働の状況	協定時間と実時間の状況	過半数労組の有無	既往歴（健康診断結果）
4	発症時30代、男性、医療・福祉、管理職（副施設長）、急性心筋梗塞、死亡。	被災者の日常業務は、福祉施設職員の業務遂行管理業務、施設利用者への各種対応業務、施設維持管理業務、業者等との対外業務、その他総務全般業務。発症前4か月の平均労働時間数は106時間であり、発症2か月前と3か月前は休日が1日もなく就労している。事業主によると、被災者の仕事振りは、真面目で責任感も強く、誠実に仕事に没頭していた。	副施設長。所属事業所の人員は69名で、入所系施設部門、通所系施設部門、訪問介護系施設部門、その他に分かれている。	正規。被災労働者は副施設長であり、事業場では管理監督者と位置付けられ、事業主は管理監督者の労働時間は管理していないとしていた。	IDカードにより労働時間を記録・管理している。	発症前1か月：91時間、発症前2か月：183時間、発症前3か月：111時間、発症前4か月：39時間（入職から発症日までの期間が4か月）	36協定の届け出なし。	なし。	高血圧症、糖尿病。
5	発症時40代、男性、卸小売業、営業・販売仕入れ・店長、くも膜下出血、死亡。	業務用酒類の仕入れ・販売、野菜・青果の仕入れ・陳列・販売、得意先への配送、商品の発注など店舗運営。	店長、店舗運営業務全般。家族での経営にパート従業員を加えて運営する小売店舗の店長。実父が代表取締役で、被災者はその下に位置付けられている。	正規。適用されていた労働時間制度なし。定休日は正月3が日を除いてなかった。休日・休憩なし。平日は6時45分に仕入れ又は配送に向かい、日曜日は店舗で8時から始業。各曜日とも20時の閉店後は20時半頃まで用務を済ませて帰宅。	タイムカード等なし。	発症1か月前：142時間、発症2か月前：193時間、発症3か月前：226時間、発症4か月前：228時間、発症5か月前：228時間、発症6か月前：228時間。	協定なしと史料。	なしと史料。	なし（健康診断受診の有無は不明）。

事例	属性・疾病	仕事内容・事実関係	職場構造・職場での位置づけ	勤務形態（正規・非正規、労働時間制度）	労働時間管理の方法	発症前6か月の時間外労働の状況	協定時間と実時間の状況	過半数労組の有無	既往歴（健康診断結果）
6	発症時40代、男性、卸小売業、FCコンビニエンスストア店長、心筋梗塞、生存。	コンビニエンスストア店舗の運営全般。売上金の精算、レジ接客、商品発注、売場の見直し、防犯対策、ミーティング等。	店長、FC事業主（中小事業主の特別加入者）。	事業主。そのためシフトは決まっていないが、原則14時から26時まで勤務。	本人の申告。事業主のため管理されていない。	発症前6か月毎月ほぼ200時間。アルバイトの証言では少なくとも発症前3年程度にわたり恒常的に時間外労働があり、休日が確保されていない状態。発症前2週間の時間外労働は44時間、連続勤務で休日なく、業務遂行中の休憩・休息も取っていない。	協定なしと史料。	なしと史料。	糖尿病、中性脂肪・LDLコレステロール・HbA1c・ヘモグロビン値の過多。
7	発症時40代、男性、医療・福祉、サービス職（営業）、虚血性心疾患、死亡	被災者の勤務先は臨床・検体等各種検査を行っており、被災者は所属営業所で営業活動の他、集配やそのスケジュール作成を行っていた。休みの者の代走も行っていた。妻の申述では、日々の長時間労働、休日出勤もあり、休暇も少なかった上、欠員が生じたため長時間労働はさらに酷くなっていたもよう。24時間待機のため、深夜・休日にかかわらず集配依頼があることもあり、帰宅後も拘束された状態であった。発症前の6か月、夜間に医療機関へ検査物集荷が91日と、営業活動での医療機関への訪問を21日行っていて頻度が高かった。	係長。所属事業所の人員は13名。正社員営業職が営業所長含めて7名、昼時間帯に検体集荷を行うパート3名、夜診時間帯に検体集荷を行うパート3名。	正規。日勤。正社員の所定労働時間は実働7.75時間、1年単位の變形制を採用。所定休日は毎日曜日の他、各月で1～2日設定されるリフレッシュ休日を定めて、営業所内でシフトを組み取得。	手書きの勤務時間管理簿に出退勤時刻を自己申告で記載する方法で、夜集荷に従事した回数や、その他付随業務に従事した回数も記載する様式。	発症前1か月：82時間、発症前2か月：99時間、発症前3か月：131時間、発症前4か月：135時間、発症前5か月：149時間、発症前6か月：144時間。	36協定は、1日4時間、1月42時間、1年320時間であり、特別条項の上限時間は、年6回を限度に1月60時間、1年450時間。発症前6か月の時間外労働数は1か月あたり123時間であり協定の上限を超えている。	なし。	いずれも心電図指摘による、ブルガダ症候群（投薬処方のみで終診）、高血圧症および心室性脳外収縮（高血圧処方）、狭心症疑い（投薬治療なし）。

事例	属性・疾病	仕事内容・事実関係	職場構造・職場での位置づけ	勤務形態（正規・非正規、労働時間制度）	労働時間管理の方法	発症前6か月の時間外労働の状況	協定時間と実時間の状況	過半数労組の有無	既往歴（健康診断結果）
8	発症時50代、男性、運輸業、貨物自動車運転手、脳梗塞、生存。	鶏卵の配送。事業所や農場、複数の配送先を行き来し、配送物や什器の積み下ろしを行っていた。帰庫は車両の点検と積み下ろしをしていた。	運行・整備者及びそれら代務者の下に各運転手が位置付けられ業務に従事している。	正社員と思料。就業規則には変形労働時間制の記載があるが実際には採用されていない。貨物自動車の運転手であるため、明確な勤務時間制度はなかったもよう。週休1日制（被災者の場合基本的には土曜日）。日勤。	デジタルタコグラフ。	発症前6か月間は毎月概ね240時間超から260時間。発症前2週間に休日1日を挟んで7日以上連続勤務を行っており、かつ、勤務中に休憩時間はなく、拘束時間（平均15時間以上）の全てが労働時間であった。	自動車運転者については、1日4時間、2週間40時間、1か月80時間、1年960時間で、法定休日の労働は2週に1回とさかれていた。	なし。	高血圧症、糖尿病、尿蛋白陽性、虚血性変化。
9	発症時50代、男性、宿泊飲食サービス、管理職（総支配人）、くも膜下出血の疑い、死亡。	勤務するホテルの各部署の統括業務（集客・コスト・施設維持・物流管理の各管理、人事業務、取引先交渉など）。被災者は午前7時半に出勤し、宿泊客の見回り・見送り、事務仕事、幹部打合せを行い、午後1時半から、館内巡視・点検、宿泊客出迎え、事務仕事を行っていた。夕刻以降は6時半から食事作業対応の監視・応接業務を行い、後に事務処理と翌日の業務の確認をして午後8時半に退社していた。妻の申述によれば、被災者は宿泊予約及び勤務シフトの状況からあまり休日を取っていないかったもよう。	総支配人（従業員兼務役員。業務執行権のない取締役）。ホテル各部署を統括しつつ、上位の業務執行権を有する取締役からの指揮命令を受けて就労。組織上上位から5番目の地位。労働者性あり。	正規。従業員兼務役員であったため、所定労働時間及び所定休日の定めがない勤務であった。日勤。	従業員兼務役員であったため、日々出退勤の管理は行われていなかった。なお、実労働時間の算定は被災者使用PCの起動及び終了時刻から算出。	発症前1か月：159時間、発症前2か月：139時間、発症前3か月：136時間、発症前4か月：145時間、発症前5か月：142時間、発症前6か月：175時間。	36協定はあるが被災者は兼務役員ゆえ不適用とされていたもよう。	なし。	高血圧症、尿潜血、貧血。



事例	属性・疾病	仕事内容・事実関係	職場構造・職場での位置づけ	勤務形態（正規・非正規、労働時間制度）	労働時間管理の方法	発症前6か月の時間外労働の状況	協定時間と実時間の状況	過半数労組の有無	既往歴（健康診断結果）
10	発症時60代、男性、心筋梗塞、死亡。	製造されたコンクリート部材の納品前検査業務。下請けが行った作業の検査・監督業務。下請けの作業状況に合わせて立ち会うため、時間外労働が常態化していた。被災前6か月の時間外労働は各月100時間を超えている。理由は人手不足。本件被災は恒常的な長時間労働に拠る過重労働と評価されている。	課長級社員（定年退職後に雇用を継続していた嘱託社員）。管理監督者扱い。	非正規。所定8時から17時、週休1日制、1年単位の変形労働時間制が適用されていた。	本人の申告。被災者は管理監督者として労働時間管理は本人に任せられていた。出退勤管理は自己申告により提出するのみで勤務先は一切管理していなかった。	発症前1か月：166時間、発症前2か月：187時間、発症前3か月：192時間、発症前4か月：130時間、発症前5か月：148時間、発症前6か月：125時間。発症前2週間の継続した長時間労働。発症前1週間の時間外労働は33時間、発症前2週間は66時間。	36協定は存在するが、特別条項の限度時間は1か月200時間、被災者の時間外労働はその範囲内に収まっているが、年6回の限度を超えていた。	なし。	脳梗塞、高脂血症、高血圧症、頸椎後縦靭帯骨化症、糖尿病検査要再検、心電図検査要治療、血糖値要再検、尿酸値要再検。